

JAきたみらい

# おひさま サタタ

2016



vol.160

5



## はいっポーズ!

《相内地区・富里》

小野真理さんと結翔くん

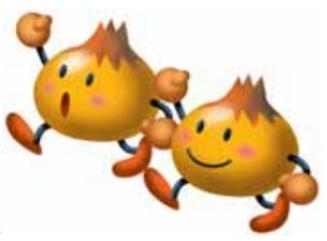
(紹介は2ページです)

特集

第13回きたみらい農業  
協同組合通常総代会



# 季節の薫り



## 玉葱の植え付け

朗らかな春の日差しが差し込む4月下旬、きたみらい管内では玉葱の植え付け作業が始まり、北見地区豊地の榊井上農園では、他品種に先駆け、真白の植え付け作業が始まっていた。

例年より2日早く播種された本年、苗は生育初期に低温にあたったが、その影響もなく良い出来で、作業もスムーズに進んでいた。

近年メディアでも取り上げられる機会が多く、消費者ニーズも高まっている真白。これからの生育が楽しみだ。

(丸山 恵理)



写真は4月21日北見地区・豊地の榊井上農園の圃場にて撮影。

### もくじ CONTENTS

特集	4
第13回きたみらい農業協同組合通常総代会	
○季節の薫り	2
○表紙紹介	2
「みんなに愛されるように」	
○地域だより	12
○ほのぼの広場	14
・きたみらいのホープさん	
・なかよし夫婦	
・プリティーウーマン	
・わが家のアイドル	
○JAからのお知らせ	16
○おひさまサラダクッキング	20
「タケノコと野菜の重ね焼き」	
「甘い春キャベツ」飯	

### 表紙紹介

## みんなに愛されるように

暖かな日差しと時折吹きすさぶ風が春の訪れをつける4月16日、小野家を訪ねるとおかあさんと一緒に結翔くんが迎えてくれました。

アンパンマンの歌が好きで音楽を聴くとノリノリになる結翔くん。取材中もおかあさんが口ずさむお歌のフレーズに合わせて手を叩いたり、リズムを取ってくれました。

3月から歩けるようになり、家のなかを探検します。大好きなアンパンマンの足げり車にまたがり、車体から流れるメロディに合わせて前進したり、後進したりと元気いっぱい。高いところに登ったり、大人の持っているものに興味を持って触ろうとするイタズラっ子な面もあります。

チーズやヨーグルトなど乳製品が好物の結翔くんは、お外遊びが好きで、牛舎にも付いていきます。牛に近づいてキュートと抱きついたり、豆まきのようにヒタミソ剤をあげたりします。

4月4日からは北見大谷幼稚園・ほいくの森に通い始めた結翔くん。そんな結翔くんにおとうさんとおかあさんは「みんなに愛されて、家族みんなを結んでいって欲しい」と話してくれました。

(高田 陽介)



【ご家族紹介】  
前列左から～おばあちゃんの栄子さん(64)、結翔くん(1歳3ヵ月)、おじいちゃんの敏夫さん(61)  
後列左から～おとうさんの真広さん(36)、おかあさんの真理さん(29)  
小野さんは経産牛、育成牛など約110頭を飼育する酪農複合経営農家です。

# 特集

## 特別決議を採択 提出議案12件を承認

### 第13回JAきたみらい 通常総代会を終える

JAきたみらいは、4月12日、北見市ホテル黒部で第13回通常総代会を開き、総代378人（本人285人、代理9人、書面議決84人）が出席しました。提出12議案を可決し、「TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別決議」を満場一致で採択しました。概要についてご報告いたします。



▲開会挨拶を述べる西川組合長



▲行政を代表して祝辞を述べる辻直孝北見市長



▲連合会を代表して祝辞を述べる瀬戸良憲北海道信用農業協同組合連合会北見支所長

総代会の開催に先立ち、長年の功績、優秀な成績を収めた4名の表彰式が行われました。北海道報徳社より本條喜代一さん（温根湯）、北川正美さん（端野）が「報徳善行賞」を受賞。昨年10月に第14回全日本ホルスタイン共進会において、山内誠さん（北見）の所有牛「DHチャンスメイクET」号がホルスタイン種未經産部門で名誉賞を受賞。今年2月に第5回高品質てん菜生産出荷共励会において、西野繁さん（上常呂）

が最優秀賞を受賞し、西川組合長より賞状が伝達されました。  
総会開会にあたり、大坪常務の開会宣言に続き、出席者全員でJA綱領を朗唱しました。開会挨拶に立った西川組合長は「平成27年度事業の取り組み状況により、8億4千万円の剰余金を計上することができました」と組合員のたゆまぬ努力に感謝の意とお礼を述べました。また、「農業、農協を取り巻く環境について平成27年度は極めて大きく情勢が変化した年でした。そのようななか、第28回JA北海道大会において、北海道550万人とともにつくる力強い農業と豊かな魅力ある農村をテーマとして、今後3力年にわたるJAグ



▲北海道報徳社より「報徳善行賞」を受賞した北川正美さん（端野）



▲北海道報徳社より「報徳善行賞」を受賞した本條喜代一さん（温根湯）



▲直播栽培で「最優秀賞」を受賞した西野繁さん（上常呂）



▲所有牛が「名誉賞」を受賞した山内誠さん（北見）



▲議長を務めた溝井雅幸さん（置戸）と鎌口幹雄さん（上常呂）

ループ北海道の対応方針が決議されました。当JAはJA北海道大会を踏まえつつ、出向く事業体制を基本として、機能の総力を結集し取り組んで参ります」と力強く決意を述べました。  
引き続き、来賓を代表して辻直孝北見市長、瀬戸良憲北海道信用農業協同組合連合会北見支所長より祝辞を受けた後、2名の議長（置戸地区の溝井雅幸さんと上常呂地区の鎌口幹雄さん）を選任し議案審議に入りました。  
定款、規定、規約の変更や27年度事業報告・決算報告、28年度事業計画など全12件の議案が審議され原案

通り可決決定されました。27年度の農畜産物販売取扱実績は計画比6・9%増の約424億2400万円と報告。28年度農畜産物取扱高を約402億3700万円とする事業計画を決定しました。  
また、JAきたみらいフレッシュミズ米森絵里香会長より「TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別決議」が朗唱され、満場一致で採択されました。  
最後に坂下専務の閉会挨拶の後、午後2時11分に全日程が終了しました。



▲議案を説明する高橋常務（左）、佐藤常務（中央）、大坪常務（右）



▲閉会挨拶を述べる坂下専務



▲監査報告する林代表監事



▲議案に挙手で賛成を表明する総代のみなさん

## 組合員の 営農と生活を守る

常務理事

齊藤和雄



この度の第13回通常総代会にて理事に選任され、翌日の臨時理事会にて常務理事の職を仰せつかりました。改めてその責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

合併以降組合員の皆様、先輩役員の方々、職員皆様によって築きあげられました「きたみらい農協」を更に発展させるべく、甚だ微力ではございますが、専心努力する所存でありますので今後も一層のご指導ご鞭撻をお願い致します。

さて昨年は、TPP交渉の大筋合意、農協改革法案の成立など、農業・農協にとって大きな情勢変化のあった一年となりました。

TPP交渉については、我々農業団体が強く反対するなか、大筋合意に至った経緯を国に対して説明責任を求めるとともに、生産者の不安を払拭し後継者から孫へと安心して営農を継続出来るよう万全な対策を強く要請していく必要があります。

今農業に対して様々な方面から改革の波が押し寄せておりますが、我々は、食を通じて国民の生活と地域経済に貢献していることに誇りと自覚を持ち、今まで以上に消費者に対し農業への理解を深めるサポーター作りが大切になり、更には、意欲ある農業者が、夢と希望を持って営農できる環境づくり、地域農業の持続的発展を目標に頑張れるよう様々な課題に取り組んで参ります。

「組合員の営農と生活を守る」を念頭に、組合長、専務を支え役職員一体となって組合員ニーズに応えられるよう農協運営に邁進して参りますので、今後とも組合員皆様のご理解とご協力を切にお願い致します。

結びになりますが、皆様のご健勝と今年も豊稔の出来秋を迎えられますことを心からご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

## 信頼される 選ばれる産地に

代表理事専務

大坪広則



この度の第13回の総代会において理事として選任され、臨時理事会にて代表理事専務に選任され、改めて責務の重さを痛感しているところであります。今まで6年間常務理事として、組合員皆様のご理解とご協力のもと務めさせて頂いたことに、心より感謝申し上げますと共に、新たな気持ちでこの重責を担って参る所存ですので、これまで以上のご理解と協力をお願い申し上げます。

本年4月に農協法が改正されました。現場の実情にどれだけ合っているのか納得しがたい部分もありますが、施行された以上はしっかりと対応していかなければと考えます。今グローバル化といった名のもと、地方の良さや特徴を否定し市場原理を追求することが最良とする社会の認識が強くなかありますが、やはり一次産業が元気になることが大事になります。食料を生産する者として「食の安心、安全」を基本として、今まで以上に消費者の理解を求めていくことが、大変重要になると思われま。

組合員の皆様に、農産物を少しでも多く出荷して頂ける様な事業を展開することが「信頼される産地」に繋がるものと確信しているところであります。厳しい農業環境であり、特にTPPに関しては、国が政策大綱を示したところではありますが、今後いかに生産現場で活用し、生かしていくかが大事になり、生産現場の声を強く発信していくことが今後の課題と思えます。

こういったことから、組合員と農協が課題を共有し、系統・農協としてのリーダーシップを発揮することが重要になるものと考えます。生産者の所得確保を最優先に「魅力あるJA、選ばれるJA、貢献出来るJA」を目指し、常勤役員の1人として西川組合長を先頭に「組合員のため、組合員による、組合員とともに」を基本に、よりJAの存在価値を高め、農協事業運営に取り組んでいく所存でございます。今後とも皆様のご指導をよろしくお願い致します。組合員皆様のご健勝と、実り多い出来秋を迎え、皆様と共に喜びあえることをご祈念申し上げます。就任のご挨拶と致します。

## 地域農業の 発展と農家経済向上のため

代表理事組合長

西川孝範



この度、第13回通常総代会において改めて理事として選任され、臨時理事会にて代表理事組合長の指名を賜り、就任することになりました。

平成20年6月より代表理事組合長として組合運営の重責を担い、その責務の重さに改めて身の引き締まる思いであります。

現在、農業・農協を取り巻く情勢において、TPP大筋合意や農協改革など、極めて大きな変化のなかにあります。国に対しては、生産者の不安を払拭し、若い農業者が未来に向けて希望を持ち続けられるような農業政策の確立に向け、万全な対応がなされるよう要請して参ります。

また、農協改革については、その主要な目的である農業所得向上の関連性などについて、いまだ十分な理解が進まないなか、改正農協法が施行され、准組合員制度のあり方などの重要案件が今後の継続課題となっております。

そのようななか、JAグループ北海道では「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現を基本目標として、今後3カ年にわたり取り組んでいくことになりました。組合員・組合員家族・役員がともに力を合わせながら「550万道民と食と農でつながるサポーターづくり」を推進し、「魅力あるJA・選ばれるJA・地域に貢献できるJA」であり続けたいと考えております。

当JAにおいては、出向く事業体制を基本姿勢として地域農業を振興し、農家組合員の営農と生活を守りながら、地域社会全体にも貢献して参ります。組合員の皆様には、更なるJAへの結集をお願い致します。

結びになりますが、今後の地域農業の発展と農家経済向上のため専心努力いたす所存でございますので、何卒倍旧変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶

## 特別決議を満場一致で採択

▶特別決議文を読み上げる  
JAきたみらいフレッシュ  
ユミズ米森絵里香会長



## TPPから北海道農業・地域社会 及び命と暮らしを守る特別決議

昨年10月5日に米国アトランタの閣僚会合において、TPP交渉が大筋合意に至ったが、農林水産物は全体の8割が即時もしくは段階的関税撤廃の対象となり、聖域とされた重要5品目についても3割が関税撤廃となるなど、我が国において、かつてない農畜産物市場の開放がなされる結果となった。

本年2月4日には、ニュージーランド・オークランドにて、TPP協定文や付属書の署名が行われたため、今後各国における国内承認手続きが行われることとなる。

政府は、「総合的なTPP関連政策大綱」を策定し、一定の対策を講じるとともに、発行した場合の影響を試算しているが、農業分野はもとより食の安全・安心やISDS、医療制度等、国民のTPPに関する懸念事項も含め、協定内容に関しては慎重な分析が必要である。

我々は、農業の担い手が将来にわたり、意欲と希望をもって営農を継続できるとともに、北海道の地域経済・社会及び国民の命と暮らしが、TPPによって脅かされることのないよう引き続き下記運動に全力で取り組んでいく。

記

1. 政府・国会議員に対しては、TPP合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性についての説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業を確立するよう強く求めていく。
2. 北海道550万人とともに、我が国の食料安全保障や食の安全・安心の必要性、農業・農村の果たす機能などに関する農業理解促進活動を展開し、国産農畜産物に対する支持と信頼を高めていく。

以上、決議する  
平成28年4月12日

きたみらい農業協同組合

## 総代からの質問・意見

提案された議案について4人の総代より以下の内容に関して質問や意見がありました。

### 議案第6号について

- ・ジャガイモシロシストセンチュウの対策について
- ・剰余金の処分について
- ・倉庫保管料について
- ・TPP対策について

### 議案第7号について

- ・生産物の選果・保管管理について

## 経営理念 実現に向け邁進を



常勤監事

宇野 広 勝

この度、第13回通常総代会において、監事の選任をいただき、続く監事会において常勤監事として互選され、就任いたしました。TPPの大筋合意、今国会等でTPP批准に向けて動きなど、農業・JAをめぐる情勢はめまぐるしく動いております。

社会は、「今だけ、金だけ、自分だけ」の風潮に流され、本来の協同組合の価値そのものが問われてきています。

在日米商工会議所と連動した規制改革会議によるJA・農民に対するバッシングは、とどまることは有りません。規制改革会議の長年の願望であった監査制度見直しも、平成30年度以降は、公認会計士法に基づく監査制度になり、財務諸表の証明を中心とする会計監査制度が中心となります。

公認会計士監査の対象外である運営に関わる監査は、手薄になることが想定され、一方では、運営における監事監査を含めた内部監査の充実・質の向上が求められ、監事としての責任は非常に重くなってまいりますが、職務に全力を尽くし、その責務を果たしていく所存です。

新しい役員体制のもと和田代表監事をはじめとする各監事・役職員との共通の認識に立ち、監事として、JAきたみらいの経営理念の実現に向けて邁進して参ります。そのためには、協同の力を合わせる事が重要であります。

組合員の皆様はもとより、役職員の皆様のご指導・ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。

## 日々是研鑽



代表監事

和田 恭 明

この度、きたみらい農協第13回通常総代会におきまして監事に再任され、続く監事会において代表監事の選任を受け就任致しました。常に上を目指す農協の一員としてその役務の重大さに身の引き締まる思いです。私自身、きたみらい農協発足から13年余り理事・監事を務めてきましたが今日まで多くの組合員そして役職員と共に、微力ながらこの農協の発展と組合員生活の向上を目指すところに参加させて頂きました。その成果が、一步一步ですが組合員や職員の努力で実を結ぼうとしてきています。長く役員をやってきた者として感謝にたえません。

今般、TPP交渉問題・政府による農協改革等、農政を取り巻く難問がいくつかあります。しかしながらいつの時代にも外政・内政にはこういった問題は存在しましたが、その都度私たちは本来の農業を守る基本のもと、様々な問題をクリアしてきました。今後全道550万人サポーターと共に日本の国家と国民の食を守るという使命を持ち、組合員と職員がひとつになり名実ともに“きたみらい”が日本一の農協になる日が来ることを期待致しているところです。

今回の役員改選で新しく3名の監事が就任致しました。新しい監査体制の下、日々監査実務を研鑽し監査していきたいと思っております。監事の職務は理事の職務執行状況を監査するところにあります。それと共に監事会としてもきたみらい農協の発展とこの地域の農業の振興・発展を理事者と共に農協運営を通じて寄与していき、そしてそこには常に公平普遍の立場を念頭に監査業務に努めて参りたいと思っております。

結びになりますが、本年、組合員ご家族の皆様また役職員の皆様のご健勝と益々のご繁栄、そして今年も昨年と同様な豊稔の出来秋を祈念申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。

## 日本の食を守り 地域と共に生きる農業



常務理事

高橋 優

この度、第13回通常総代会において改めて理事として再任いただき、続く理事会において販売・購買担当常務理事に就任しました。

今までの3年間、組合員各位のご理解とご協力のもと、その任に当たることが出来ましたことに心より感謝申し上げますとともに、これからの再任期間その責務を果たし組合員の皆様の負託に応えられるよう努力する所存であります。

今日、政府が推進する新自由主義によって経済を最優先する心のない日本へと舵をきろうとしていることに私は憂慮しております。現実としてこの方針が国内においても中核都市、極一部の大企業が潤う反面、当地域においては人口の減少といった地域経済を発展させていく上での大きな障壁となり、押し寄せてきていることを実感しています。

農業は日本国民の食料安に直結する重要な産業であり、食は日本の文化であります。節操のない価格追求だけではなく、生産された農畜産物を全国へ供給する義務を果たすことが大事であると考え、地域経済に直結する重要な役割を担う基幹産業としての農業振興に努めて参ります。

農業が持続的に発展する上で、JAの経済事業の果たす役割の大きさを再認識し、販売事業においては供給責任を果たし、その上で更に国内外のマーケットを視野に入れつつ、多様なニーズに対応できる産地として認知される様、柔軟かつ攻めの販売を実践して参ります。

また購買事業においてはより一層の廉価追求と有益な情報、サービスの提供を重点課題と位置づけ、選んでいただける事業執行に全力で取り組んで参る所存であります。

組合員各位が安心して農業生産に傾注出来るよう、JAとしての役割、役員としての重責を改めて自覚し、組合員の皆様の更なる結集を事業推進の力に変え実践に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。今年も組合員の皆様のご健勝で、豊稔の出来秋を迎えられます様ご祈念申し上げ、就任のご挨拶にかえさせていただきます。

## 出向く推進 を旗印に現状打破を



常務理事

佐藤 浩

このたびの役員改選により、引き続き信用担当常務を拝命いたしました。身に余る職責ではありますが、組合員皆様の生活と営農活動を側面からしっかりと支えてまいりたいと思っておりますので、これからも引き続きご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

今、当農協は第4次中期経営計画の中間年を迎えましたが、信用部門では経済の全般的な低迷、日銀の金利政策による利ザヤの縮小、新たなTPP関連対策によるリース事業導入などによる融資事業の縮小が見込まれ、また共済部門においては国内外の保険業界との競争激化など両部門とも経営環境はまさしく厳しい状況にあります。このたび、中期経営計画で承認を頂いております総合渉外課を4月1日よりスタートさせ、信用・共済部門の現状打破をめざし、“出向く推進”を旗印に専任職員10名を配置いたしました。多くの皆様に愛され、信頼され、そして事業が伸展し、組合員皆様の生活と営農活動に貢献できるよう努力して参ります。

また、農協改革においては、准組合員の利用規制が5年後に結論を出ようとしておりますが、かかる規制によっては、現状の利用実態からみても信用・共済部門ともかなりのダメージが必至であります。道民550万人サポーターづくりによって農業・農協組織の応援団を増やし、地域から求められる組織であることを政府に知らしめるためにも、“出向く推進”の行動力が生きていくものと確信しております。

非力ながらも誠心誠意、努めてまいりますので、皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 新体制がスタート 3年間、一致団結し勇往邁進

4月12日の第13回通常総代会において、新しい役員が選任されたことに伴い、翌日の臨時理事会および監事会において向こう3年間の新執行体制が決定されましたのでお知らせします。(●は地域運営委員長)

## 理事

 常務理事 高橋 優 (学経)	 常務理事 佐藤 浩 (学経)	 常務理事 齊藤 和雄 (北見)	 代表理事専務 大坪 広則 (訓子府)	 代表理事組合長 西川 孝範 (端野)
 理事 ●牧野 篤嗣 (温根湯)	 理事 ●有馬 和幸 (置戸)	 理事 ●米森 久雄 (北見)	 理事(営農専門委員長) 藤森 光秋 (訓子府)	 理事(総務専門委員長) 林 政則 (新)(相内)
 理事 河野 栄 (上常呂)	 理事 山内 幹司 (新)(端野)	 理事 澤山 一之 (新)(留辺蘂)	 理事 吉田 正実 (上常呂)	 理事 中村 一博 (訓子府)
 理事 宮下 尚樹 (新)(北見)	 理事 小野 洋一 (新)(訓子府)	 理事 東海林 正幸 (新)(置戸)	 理事 伊藤 稔 (新)(温根湯)	 理事 寺崎 博 (端野)

## 監事

 監事 柏原 勝 (置戸)	 常勤監事 宇野 広勝 (新)(学経)	 代表監事 和田 恭明 (北見)
 監事 平川 千春 (新)(端野)	 監事 川岸 一三 (新)(相内)	 監事 南 博敏 (訓子府)

## 難局を乗り越え より一層の発展を

前・常勤監事  
菅 崎 秀 弘

組合員の皆様におかれましてはご健勝で農作業にお忙しい毎日と存じます。

さて、私ことこの度の役員改選に伴い4月12日の総代会終了をもちまして監事を退任いたしました。

平成22年から6年間に亘り、常勤監事として務めさせていただきました。

もとより浅識非才の私ですが、きたみらい役員として協同組合運動に関わらせていただき、任期を滞りなく全うできましたのも組合員の皆様の温かいご支援と役職員の皆様のご支援の賜物であり、心からの感謝とお礼を申し上げます。

昨年度の農業生産は総じて豊作基調に恵われましたが、就任した平成22年度以降をみても過去に例のない降雪被害、春先の降雪、低高温・多雨と猛暑による湿害や乳量の減少、或いは干ばつなど異常気象による農業への甚大な影響もあつたところでした。

このようななかで、“気象変動に負けない農業の確立”に向け、“協同の力”を礎とする“協同組合組織・きたみらい”としての活動が既に開始されていることは本当に嬉しい限りです。

農業・JA組織を取り巻く環境は、昨年のTPP大筋合意・農協法改正などをはじめ引き続き激動の状況にあり、かつ多くの課題が山積しております。

これらの環境下にありましても、地域農業とこれを支える“きたみらい農業協同組合組織”は引き続き様々な難局を乗り越えより一層発展していくものと確信しておりますし、そして益々躍進し続けていくことを願って止みません。

結びになりますが、組合員、役職員皆様の益々のご健勝とご繁栄を心より祈念申し上げ、退任に当ってのご挨拶とさせていただきます。

長い間大変お世話になり、本当にありがとうございました。



## ともに歩む 未来に向けて

前・代表理事専務  
坂 下 一 夫

新緑の候、組合員の皆様におかれましては、今年の畑作業も始まり何かとご多忙のことと存じます。

さて先日開催されました第13回通常総代会をもちまして代表理事専務の職を退任させていただきました。これまで大過なく職務を全うできたのも組合員の皆様からのご指導ご鞭撻、職員の皆様のご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

顧みますれば、平成元年、理想だけは高いが全く経験のない若輩者が、旧留辺蘂農協の理事となりました。よき先輩や仲間にも恵まれ15年間務めさせていただきました。

きたみらい農協誕生という歴史的大事業にも参加させていただき、その後13年間理事として、また常務・専務としての職を務めさせていただきました。

多くの皆様に支えられながら責務を果たすことができ感謝にたえません。

一方、毎年多くの組合員の仲間が離農せざるを得ない状況となるたび、自分の無力さを痛感し居場所を探す日々もありました。いろいろなことがありましたが、すべてが大切な思い出であります。西川組合長を支え盛り立てることがありますが、これまで組合長が様々な問題に対処する姿を間近で拝見し、微力ながらではありますがお支えすることができたことは、私にとって大きな財産であります。

今、農業と農協を取り巻く環境はとても厳しく、心配なことばかりですが、この様な時こそすべての組合員がきたみらい農協に結集しこの難局を乗り越えていただきたいと願っております。一人ひとりが変わることでは社会は変わりません。これからは私も一組合員として「ともに歩む未来に向けて」結集し、支えていきたいと思っております。

結びに、きたみらい農協のますますの発展と組合員・役職員の皆様のご多幸ご健勝をご祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。



退任のご挨拶



JAきたみらい青年部西支部（本田和幸副支部長）は4月8日、温根湯地区事務所にて、毎年恒例となっている「春の講習会」を行い、部員19人が参加しました。

当日は、網走改良普及センターの松浦専門指導普及員、野原専門普及指導員を講師に招き「輪作体系について」をテーマに説明を受けました。

講習会では輪作を行うことで土壌病害虫や特定の雑草の増加がしにくくなることや、連作することによって高まるリスクについてなど幅広い講習内容となりました。

終了後に行われた懇親会では、これから始まる定植に向けた話題、講習会の内容などで会話が弾んでいました。

（梅澤 大）



▲講習会を聞く部員のみなさん

**西地域 温根湯** **輪作体系について学ぶ**  
～青年部春の講習会～



▲播種作業を行う長山正吉さん

**東地域 上常呂** **倒伏に気を付け高タンパクの小麦を**  
～春まき小麦の播種始まる～

きたみらい管内では、4月20日から一斉に春まき小麦の播種作業が行われました。

上常呂地区広郷の長山正吉さんは、21日に作業を行い「春よ恋」5畝を作付けしました。今季の春まき小麦について「倒伏に気を付け、高たんぱくの小麦を生産したい」と話しました。

長山さんは、天候不良等による作業の遅れを解消するため、今年新たに整地・播種複合機（コンビネーションドリル）を導入し、「作業時間が半減し、適期作業の実現につながる」と効果を実感しています。今後は、RTK-GPSガイダンスシステムの搭載を検討しており、さらに効率化とコスト削減を目指しています。

当JAの今季の春まき小麦作付面積は約1050畝、生産量は約4,400トンを計画しています。

（植山 里子）



**地 域 だ よ り**



JAきたみらい青年部訓子府支部畑作専門部（佐々木利治部長）は4月6日に学習会を開催し、部員29人が参加しました。

学習会前半は北見農業試験場研究部生産環境グループ小野寺政行氏を講師に招き、部員の土壌分析結果を用いて各診断項目の基準値を参考に具体的な対策方法の指導を受けました。

小野寺氏は「土壌診断は定期的を実施し、短期と長期の計画をしっかりと立てて土壌改良資材や有機物施用を有効に使い、収量・収益性の増加につなげて欲しい」と呼びかけました。

学習会の後半は今年度、同部で行う試験に触れて、日本曹達株式会社等メーカー3社が、使用薬剤の効果について説明しました。

同部は各班に分かれて試験や収量などの調査を行っており、今年度の試験は小麦、馬鈴薯等の圃場で順次開始されます。

（神田 貴章）

**南地域 訓子府** **土壌分析を学ぶ**  
～学習会に29人が参加～



▲土壌分析の説明を聴く部員のみなさん

**南地域 訓子府** **収量確保が目標**  
～馬鈴しょ植え付け始まる～



▲作業が進む西森さんの圃場

今年は1月に大雪に見舞われたものの、雪解けも順調に進み例年並の馬鈴しょの植付作業開始となりました。

訓子府町馬鈴薯耕作組合の組合長を務める、柏丘の西森孝広さんは総経営面積18畝のうち「男爵」「さやか」など馬鈴しょ5.5畝を作付けしており、天候が安定し始めた4月23日より植え付け作業を開始しました。「まずは昨年と同等の収量確保を目指したい」と目標を話し、作業に取り組んでいます。

今年度JAきたみらいでは食用・加工用合わせて2,100畝作付けし、6万8千トンの生産量を見込んでいます。

（石井 睦美）

きたみらいの  
**ホープさん**



- 趣味は？  
お笑い番組鑑賞♪  
最近は野菜料理を毎日作っています(^\_^)
- 好きな食べ物？  
エノキダケ&メロン♪
- 休日の過ごし方は？  
音楽の仕事をしていることが多いです♪
- 農業で学び実感したことは？  
健康的な生き方が素晴らしい！
- 今後の抱負は？  
元気な作物をつくるのはもちろん、農業と音楽を紡ぎあわせた営農をしていこうと思っています(^\_^)

正人さんは畑作専業農家の幸一さん、美智子さんの長男で就農して4年目になります。オホーツク観光大使、2代目全道純農Boyを務め、昨年はジュニア野菜ソムリエを取得。精力的に活動しています。(高田 陽介)

**農業と音楽の紡ぎ**

北見地区・大正  
遠藤 <sup>まさと</sup> 正人さん(35歳)

◆ご出身、ご自身の性格は？

生まれも育ちも置戸です。26歳の時に生まれ育ったこの家を継ぐ決意をし、就農して丸10年が経ちました。

◆どんなご家庭ですか？

2010年、31歳の時に結婚しました。子どもは3歳の男の子が一人で今年から保育園に通っています。これからは仕事・育児・家事を両立し、夫婦助け合って経営改善に取り組んでいきたいです。

◆趣味はありますか？

趣味は農業新聞を読むことです。最新情報は役に立ち、面白いです。フレミズや女性農業後継者のネットワーク「はらべ娘」の仲間が載っていると嬉しいです、自分も頑張ろうと思います。

◆組織活動で楽しいこと、今後の抱負は？

フレミズでは同世代の農業女子と交流することができますし、役員を経験したことでオホーツク管内や全道にも友だちが出来ました。「楽しい！」をモットーに、支部活動を大切にしながらも、地域を越えてより多くの人と交流を深めていけたらと思います(^\_^)

Pretty Woman  
**ウーマン**



**地域を越えての交流を**

置戸地区・雄勝  
小林 <sup>ゆきこ</sup> 由紀子さん(37歳)

今回は平成28年度フレッシュミズ副会長の小林さんに登場いただきました。(石井 睦美)

**わが家のアイドル**

**ルンバがお気に入り♪**

坂下家のアイドル創思くんは、とっても人見知り屋さん。家族にはいつもニコニコしていますが、初めての人と会うと親戚でも泣いてしまうほど。しかし、最近お気に入りの自動式掃除機ルンバが動き出すと楽しそうに後ろを追いかけ、家の中を元気にハイハイしていました。

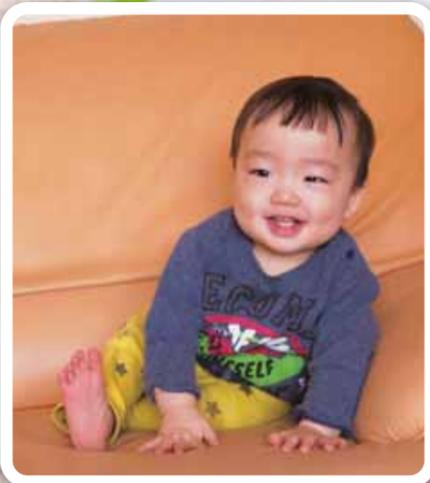
創思くんは4人姉弟の末っ子で、お姉ちゃん、お兄ちゃんが楽しそうに遊んでいると、あとをくっついて歩き、姉弟仲良く一緒に遊びます。上のお姉ちゃん2人をはじめ、家族みんなが創思くんを溺愛。お母さんのあゆみさんは「みんなに可愛がられ、甘えん坊な子になりそう」と少々心配しながらも、優しい眼差しを送っていました。

“創思”という素敵な名前は、響きが気に入り画数を考えながら決めたそう。将来は「自分の意思がちゃんとある子に育ててほしい」「創る思い」にピッタリな願いも話してくれました。

坂下修一さん・あゆみさんご夫妻の4番目のお子さんと、白い肌とぶにぶにの頬がとっても可愛い男の子です。(丸山 恵理)

留辺蘂地区・旭一区

坂下 <sup>そうし</sup> 創思くん  
(1歳)



Q出会ってから結婚に至るまで

二人とも訓子府町内の自動車整備工場に働いていました。根室出身のお父さんが婿入りする形で結婚となりました。

Q結婚当初のエピソード

昔はヘルパーがいなかったので結婚式の翌朝から搾乳をしました。牛乳で乾杯したのは良い思い出です。ビートの播種を終えてから新婚旅行に行き、間引きまでの間に帰ってきて…と仕事に慣れるまでは大変でしたね。

Q趣味は？

子どもも離れ、仕事も落ち着き、やっと生活に余裕が出てきました。ここ数年「ゆず」の曲をよく聴いていて、二人でコンサートにも行っています。来年結婚30周年なので東北新幹線で旅行にもいきたいですね。

Qお互いへの感謝の言葉

剛さん……身の回りのことや近所付き合いなど、いろいろサポートしてくれて感謝しています。  
智恵美さん…私の好きなことを自由にやらせてくれてありがとう。  
(石井 睦美)



**ながよし夫婦**

**結婚30周年は  
ふたりでゆっくりと**

訓子府地区・駒里  
毛房 <sup>つよし</sup> 剛さん(55歳)  
智恵美 <sup>ちえみ</sup> さん(49歳)

# INFORMATION

## 連載 第28回 JA北海道大会 パネルディスカッション③ 美しい農村景観の意味と価値 加工食品の材料にも北海道産

作家・エッセイスト 森 久美子氏

JA北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言を頂きました「北海道農業とJAグループに期待すること」をシリーズで報告します。

第3回は、森久美子氏の提言を紹介いたします。

### 美しい農村景観を守るため輪作体系の教育を

景観について考える気持ちをお話しします。以前、写真で見た美瑛町の農村景観にびっくりました。この美しさは農業があるからこそだと気づきました。

東京に住んでいたころ、実家から届いた北海道の野菜をおすそ分けすると、食べてみないうちに「北海道のでしょ、おいしいんだよね」と必ず言われました。その時、同時に農村景観の美しさや清涼な空気、広大な土地をイメージして買っていると思いました。札幌市民あるいは道民は、当たり前すぎて、農業生産が行

われているからこそ風景だということがありがたみが欠けています。

「いつまでもあると思うなこの景観」というのは、半分は冗談に聞こえるかもしれませんが、かなり本気で思っています。農業が継続されないこと、この景観を失い観光客も来なくなり、経済でも北海道は行き詰まる。それではどうすれば良いのか。食農教育の分野で、みなさん個人個人は頑張っているけれど、農作業の苦勞や、なぜおいしいのかという話はされるが、案外、輪作体系を教えている機会はほとんどないのではないか。

去年と同じ農村景観を撮ろうと思っただけなら、なぜか色が違う。輪作があるからだよと都会の人たちにも教えて頂きたいです。JAの力で

## 連載 第28回 JA北海道大会 パネルディスカッション④ 「550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現に向けた組合員の役割

北海道農協青年部協議会 参与 黒田 栄 継 氏

第4回は、青年部を代表して北海道青年部協議会黒田栄継参与からの提言を紹介します。

### 「力強い農業」、 「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割

昨年、全青協会長の立場で、JAグループ自己改革の審議に関わりました。そのなかで、国民合意を形成していつかという時の世間からの風当たりは皆さんの想像以上のものがありました。

農協改革は、なんとなく落ち着いているような雰囲気だが、5年経ったらいろいろまた始まる。何も終わっていません。そのなかで、今回の大会で何を決めて何を指すか。現場の青年部としても自己改革を作っ

ていくなかで、何をして、何を望み自分たちは何をつくるのかを議論してきました。

やはり、農協の営農経済の事業を改めて確立していつかということになります。北海道は、全国的にみるとダントツにできていますが、改めて北海道が全国のインシアチブをとるくらいのことをしていく。そのためには、職員、役員だけでなく、組合員がしっかりそこに気づいて、改めてJAグループ全体でやるという雰囲気をつくっていくことが大事。

組合員教育という言葉に怒り出す組合員も非常に多いが、避けては通れない。私も青年部参与として関わっているの、青年部でも、しっかりと共有認識をもって今後一緒に事業

### 消費者に選ばれる 北海道産入りの加工食品

あればできるのではないかと思っています。

単身者の世帯数が全国平均で戸数として3割以上あります。生鮮食品に使う食料費が非常に少なくなっており、外食、外食以外の中食、調理済み食品に食料支出の44%を使っているのが2013年度の統計に出ています。

加工食品を食べている人たちが、どれだけ日本のものや道産のものを意識してくださるかが非常に重要。JAグループが一丸となって、「北海道産を使っていくカップ麺」とか表示なり宣伝文句をつけて、その分、仮に外国産の材料より10円高くても買う、という消費者を増やしていく



もりくみ 久美子氏  
作家・エッセイスト  
農林水産省・食料・農業・農村政策審議会臨時委員  
北海道農業・農村審議会委員

なければなりません。北海道の目指す農業、農村の姿とすることで、550万人と共にいうことは大変すばらしい。実現できるよ、私たちも消費者の一人でもあるので力になれたらと思っています。力強いだけでなく、今まで農業を続けられたご年配の方たちが、「自分の人生はこれで良かった」と思うような農村を作ってほしい。力強い農業・農村には、そのことも含んでいくことを意識して頂きたいです。Aコープの買い物支援も含めて地域の人たちを守る、地味だけどJAだからできることをぜひ忘れないでやって頂きたいです。

### 最後に一言

再生産できる価格で買って頂いて農業が続けられ、農村を守るために補助金を出してもらおう。国民のコンセンサスを得られるための啓蒙活動をして頂きたいです。JAグループを含め農家を守ることも、道民の健康や生活を守っていることを分かってもらうようにすることが、サポーターを育てることだと思っています。農業に対する理解がない人たちが誤解なく農業を理解して下さるようこれからも頑張りたいです。

### 「550万人と共に創る」

をつくっていききたいです。



くろだよしく 黒田 栄 継 氏  
北海道農協青年部協議会 参与  
全国農協青年組織協議会 参与

550万人と謳ったからにはかなりのことを展開しないといけない。多くの人と繋がるためには、皆が力を出していかないとけません。組合員と一体となり、全体で前に進む姿を作っていくというものが、現場の心とりの決意です。農協は良いところがたくさんあるし、私もそれにお世話になってきました。

しかし、良いところは、実は私たちにとっては当たり前にあるもの。良いと改めて考える必要がなく、わざわざそれを褒めることもありませんでした。

農協改革がここまで押し込まれた理由の1つに、自分たちの良さを自分たちで語れたかということがあったかと思っています。内部にいては気づかない。いろいろな人と関わること自分たちの価値観が明確になります。消費者に農業の本当の価値がしっかり伝わっていないのではないかと感じます。農業者一人ひとりが価値を伝えていく。これだけ距離があいてしまった社会では、絶対的に私たちがやらなくと次のステップに進めません。大会議案の実践方策に何をすることが書かれているのは本当に素晴らしい。ぜひ、これをいろいろな手を組んで実現できたら良いなということを変更して思っています。

### 最後に一言

550万人とつながるといいう取り組みについて、全道各地青年部また女性部、本当にたくさん取り組みをしています。JAグループ全体でその取り組みを広げていき、私たち青年部、女性部は、みなさんと一緒にやっているので、頑張っていきたいと思います。

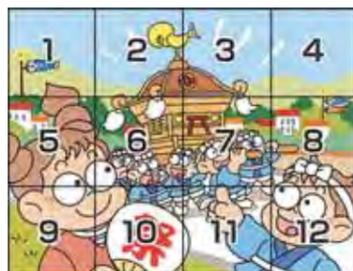
# まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分があります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



## 4月号まちがいさがしの当選者

4月号のまちがいさがしの答えは「4、5、6、8、10」でした。正解者63名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

( )内は地区名

- ・児玉 凜 さま (温根湯) ・坂下 日彩さま (留辺蘂)
- ・岡嶋 厚子さま (相内) ・笠野 敏明さま (訓子府)
- ・黒川 春枝さま (訓子府) ・佐々木佳子さま (訓子府)
- ・小池エミ子さま (訓子府) ・高尾 咲江さま (上常呂)
- ・米森 慶史さま (北見) ・富樫 怜央さま (端野)

以上の方々には、JAきたみらいカレー三種類をセットにしてプレゼントします。

## 応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、特集で紹介したJAきたみらいの「オニオンコンソメ」「玉葱塩だれ」「玉葱醤油」をセットにしてプレゼント致します。

**塩** だれ大好きでよく利用しています。定番の味に  
変化ができて美味しくございます～！

(上常呂地区 合田 まゆみさん)

日頃よりご利用ありがとうございます！塩だれを使っ  
た新メニューどんどん編み出してくださいね。

**農** 作業の始まる季節になりました。今年も健康で  
一年がんばりましょうね。

(相内地区 高橋 美智子さん)

ついに今年も始まりましたね！春先は寒暖差が  
激しいので、体調管理に気をつけましょう。

**4** 月6日に2年生になりました。  
7歳です！

(端野地区 間村 美里さん)

進級おめでとございます。  
楽しい思い出をたくさん作って下さいね！

**春** は桜が咲く季節。今年は、そんな季節に赤ちゃ  
んが産まれます。みんな楽しみにしてくれてい  
るのでがんばらなくちゃ！！

(上常呂地区 匿名希望)

おめでとございます！元気な赤ちゃんを産んでくだ  
さいね。

# VOICE 読者の声

# INFORMATION

## 第3回 理事会報告

4月18日、午後1時30分より第3回定例理事会が開催され、報告事項8件、議決事項7件、協議事項1件が協議され、原案通り承認されました。

### 【報告事項】

- ①組合員状況報告について
- ②財務状況報告について
- ③人事の発令について
- ④ジャガイモシロシストセンチュウ侵入防止対策指針の制定について
- ⑤H27年産馬鈴しょ・玉ねぎの選果改装状況について
- ⑥生乳生産状況及び個体取引価格状況について
- ⑦購買部門の連休対応について
- ⑧地域運営に係る役員対応体制について

### 【議決事項】

- ①行政庁に提出する業務報告書について
- ②諸規定の改正について
- ③役員退職慰労引当金の取崩及び退職慰労金の支給について
- ④理事報酬の配分について
- ⑤H28年産青果物取扱要領(野菜)の設定について
- ⑥理事に対するクミカン貸越極度額の設定について
- ⑦理事からの加工品仕入について

### 【協議事項】

- ①熊本地震に係る対応について

## 乳質改善・生乳増産を表彰 ～きたみらい酪農振興協議会奨励事業～

きたみらい酪農振興協議会(伊藤稔会長)は4月22日、JA訓子府地区事務所にて乳質改善表彰、生乳増産表彰を行いました。

乳質改善の部では、基準を満たし、体細胞数が一番低い生産者を表彰。最優秀賞に置戸町常盤の安孝志さんが選ばれました。生乳増産の部では、基準を満たし、前年比の生乳増産率が一番高い生産者が表彰され、最優秀賞に置戸町安住の溝井雅幸さんが選ばれました。

受賞した溝井さんは「つなぎ牛舎を増築し、牛を増頭したことが乳量増加につながった。これからもきたみらい地域全体の乳量増加に貢献していきたい」と意気込みを話してくれました。



▲生乳増産の最優秀賞を受ける溝井雅幸さん(左)



▲資材店舗横に併設された四季倶楽部の外観



▲市民の方々から好評を得た店内の様子

## ガーデニングハウス 「四季倶楽部」 グランドオープン！

きたみらい北見資材店舗併設のガーデニングハウス「四季倶楽部」(サン園芸)が4月22日、グランドオープンしました。

年間を通して営業し、種子や花苗・野菜苗、園芸用品などが取り扱われます。

また、開店を記念し、4月22日(金)～24日(日)の3日間、オープンイベントを開催。大勢の市民のみなさんにお越しいただきました。

## 退職のお知らせ

平成28年4月12日付で職員が退職しましたのでお知らせ致します。

在職中は、組合員皆様をはじめ、地域皆様のご厚情を頂き誠にありがとうございました。



**堅田 萌花**  
(販売企画部  
企画開発グループ)

- ・H26.4 入組
- ・H26.5 販売企画部企画開発グループ
- ・H28.4 退職
- 在職期間 2年

## お詫びと訂正

先月号(159号)のおひさまサラダで、次のとおり誤りがありましたので訂正のうえ、深くお詫び申し上げます。

P1、2 福田 由佳里さん ⇒ 由佳理さん



【材料：4個分】

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| ゆでタケノコ (小さめ) ……1本 | ごま油 ……大さじ1  |
| ナガイモ ……6~7cm      | しょうゆ ……大さじ1 |
| 長ネギ ……1本          | 酒 ……大さじ1    |
| シイタケ ……4個         | みりん ……小さじ1  |
| 溶けるチーズ ……15g      | 水 ……大さじ1    |
| アンチョビ ……1片        | ピンクペッパー…適量  |

## タケノコと野菜の重ね焼き

【エネルギー約114kcal(1食当たり)】

【作り方】

- ①タケノコの根に近い側は1.5cm厚さに4枚切り、残りは食べやすい大きさに切る。ナガイモは皮をむき1.5cm厚さに4枚切る。長ネギはナガイモと同じ長さに8本切る。シイタケは石突きを取る。
- ②フライパンを温めごま油を熱し、まずタケノコ、ネギ、シイタケの両面を焼き、火が通ったらナガイモを加えてさっと焼く。
- ③タケノコの上にナガイモ、ネギ2本、シイタケの順に重ねチーズを載せる。
- ④アンチョビをほぐし、しょうゆ、酒、みりん、水と一緒に合わせておき、③に加えてふたをする(弱火)。
- ⑤チーズが溶けたら器に盛りつけ、お好みでピンクペッパーを振る(さんしょうや黒こしょう、七味唐辛子などで代用可能)。

メモ

旬のタケノコと丸い野菜を焼き・重ねる、和とイタリアンのコラボです。野菜たちの異なる食感と甘さ・香りなどがお口いっぱい広がります。アンチョビとチーズの塩味がアクセントになりご飯もお酒も進みます。ナガイモのシャキッと感を生かすため、後から焼きましょう。

# おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



【材料：4人分】

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 米 ……2合             | ショウガ ……1片          |
| キャベツ ……1/4 (約200g) | だし汁…酒としょうゆを 含む2カップ |
| アサリ ……15個          | 酒 ……大さじ1           |
| 油揚げ ……1枚           | しょうゆ ……大さじ1        |
| 切り干し大根…12g         | 塩 ……小さじ1           |
| 梅干し ……2個           |                    |

## 甘い春キャベツご飯

【エネルギー約365kcal(1食当たり)】

【作り方】

- ①米は30分以上浸水後、水を切る。アサリは砂抜き後、殻をよく洗う。油揚げは熱湯で油抜き後、細めに切る。キャベツはザク切りにし、水気を切る。切り干し大根はさっと洗い1~2cmに切る。ショウガは千切りにする。
- ②鍋に米を入れ、キャベツ以外の材料を全て加える(アサリは最後に載せる)。
- ③沸騰するまで強火、その後弱火で13分加熱したら火を止め、アサリを取り出しキャベツを加えてからふたをして12分蒸らす。炊飯器の場合も同様に、蒸らしに入ると同時にアサリを取り出しキャベツを加える。
- ④まだキャベツはしっかりしているが、全体をふんわりと混ぜ合わせるとなじむので、梅干しの種を除き、アサリを戻していただく。

メモ

春キャベツと切り干し大根の甘味・梅干しの酸味が体に優しい炊き込みご飯です。柔らかい春キャベツを楽しむために、ご飯が炊き上がったから加えます。キャベツの存在感でボリュームもタップリ。アサリは小さくなってしまいますので、取り出しておきましょう。

### 編集後記

- ・4月末の雪に見舞われ、一瞬だけ冬の季節に逆戻りしたと思えば、気温が高くなったりと寒暖の差が大きい日が続いています。
- ・組合員の皆様は、春作業の真っ最中でお忙しいと思います。つい無理をしたり疲れを溜め込んでいないでしょうか。適度に水分補給と休息を取りながら、植え付け時期を乗り切りましょう。

(神田 貴章)

### JAきたみらい概要

(平成28年4月11日現在)

- ・組合員数(正) 1,753人
- ・組合員数(准) 6,070人
- ・組合員戸数(正) 1,105戸
- ・貯金 103,779百万円
- ・貸出金 15,015百万円
- ・出資金 5,012百万円

発行 きたみらい農業協同組合  
 〒090-0813 北海道北見市中ノ島町丁目1番8号  
 TEL0157-32-8777(4)  
 責任者/西川孝範  
 編集者/宮農振興部:企画振興グループ